

道内図書館（室）の高齢者・障がい者サービス 取組の現状（アンケート調査結果）【概要版】



- 高齢者サービス 113館 / 207館**
- 第1位 施設・病院への団体貸出 62.8%
 - 第2位 郵送・宅配サービス 28.3%
 - 第3位 高齢者向けおはなし会・朗読会 20.4%
- 高齢者施設 50.4%
特になし 28.3%
高齢者大学 25.7%

- 障がい者サービス 105館 / 207館**
- 第1位 郵送・宅配サービス 46.7%
 - 第2位 特別支援学校・学級への本の貸出 43.8%
 - 第3位 施設・病院への団体貸出 35.2%
 - 第3位 筆談による対応 35.2%
- 特別支援学校・学級 41.9%
行政の福祉担当部署 35.2%
障がい者施設 24.8%

誰でもが利用しやすい環境（施設・資料等）の整備
193館 / 207館

- 施設・設備の整備 193館 / 207館**
- 第1位 多目的トイレ 81.5%
 - 第2位 老眼鏡・拡大鏡 76.2%
 - 第3位 貸出し車椅子 68.9%
- 資料の整備 149館 / 207館**
- 第1位 大活字本 95.3%
 - 第2位 布の絵本 51.0%
 - 第3位 録音図書 44.3%

PR 特になし **52.2%**

PR 特になし **59.0%**

- 高齢者への読み聞かせ・朗読 23館 / 207館**
- 誰が？ ボランティア 78.3%
 - どこで？ 高齢者施設 73.9%
 - 何を？ 紙芝居 87.0%
絵本 78.3%
歌 56.5%
- 高齢者向け講座 5館 / 207館**
- 郷土研究、映像鑑賞会
読み聞かせの実践
図書館専門課程の講座

- 点訳資料 23館 / 207館**
- 誰に？ 制限なし 50.0%
 - 障がい者手帳を持つ方 50.0%
 - 誰が？ ボランティア 100%
 - 何を？ 個人の持ち込み資料 75.0%

ウェブアクセシビリティ 14館 / 193館

- 拡大写本 0館 / 207館**
実施館なし
- 対面朗読 13館 / 207館**
- 誰に？ 制限なし 53.8%
 - 誰が？ ボランティア 84.6%
 - 何を？ 図書館所蔵資料 92.3%
 - 頻度は？ 随時 53.8%
 - 時間制限は？ なし 61.5%

- 録音（音訳）資料 15館 / 207館**
- 誰に？ 制限なし 60.0%
 - 誰が？ ボランティア 100%
 - 何を？ 図書館所蔵資料 66.7%

配慮・苦慮

- 【配慮】**
- ①図書館に来られない方へのサービスの充実
 - ②多様な要望や事例に対応した個々のサービスの開始
 - ③案内やチラシの字の大きさ
- 【苦慮】**
- ①予算がない
 - ②施設の構造上の制限
 - ③利用者個人に対する苦慮
 - ④読み聞かせ等への対応
 - ⑤対応する職員のスキル・ノウハウ不足
 - ⑥ニーズが把握できていない
 - ⑦周知方法

今後の展開

- ①サビエ加入
- ②図書館に来られない方へのサービスの充実
- ③他課と連携した事業
- ④設備の充実
- ⑤資料の充実
- ⑥見やすい案内の設置やチラシの作成
- ⑦建て替え・改修に伴い利用しやすい施設へ改善
- ⑧施設へ出向いての読み聞かせ
- ⑨対応する職員のスキル向上

- 郵送・宅配サービス 49館 / 207館**
- 郵送のみ実施 28.6%、宅配のみ実施 53.0%
両方実施 18.4%
 - 誰に？ 障害者手帳を持つ方 49.0%
高齢者 46.9%
 - 方法は？ 図書館職員による運搬 51.0%
郵送・宅配 42.9%
- 費用負担**
- 【郵送】利用者全額負担 18.4%
図書館全額負担 14.3%
 - 【宅配】図書館負担 84.6%

【課題と方向性】

- ①施設・設備・資料の整備 → 相互貸借の活用、整備できるものから取り組む
- ②対応する職員のスキルの向上 → 職員の研修機会の提供し、専門家からノウハウを学ぶ
- ③PR不足 → 多くの機関と連携し、積極的な周知を図る